



7月31日行なわれた小山市の花火大会での打ち上げ花火。大会会場にて実習生が撮影

先月下旬の梅雨明けとともに、今月は連日の猛暑。当センターでも先日は36度を越えた日がありました。暑さには慣れっ子のはずの東南アジアからの実習生の皆さんの口からも、「あついです・・・。」との声が上がっています。私たちも思わず、「ベトナムと日本とどっちが暑い?」「フィリピンと日本とどっちが暑い?」と聞いてしまうのですが、今年は、「にほんのほうがあついです」との答えが圧倒的に多くなっています。そんな暑さの中ですが、これまでのところ特に体調を崩す実習生もなく、皆さん、元気に日本語学習に励んでいます。

## あじけんスコープ Vol.45

## ～あじけんオープンカフェ?～

先月から研修センター中庭にテーブル席が設置されました。もともとは、寮と学校の通学距離が長くなってしまいう実習生の皆さんのためのランチスペースとして、設置されましたが、登校前や、放課後にも友達との歓談や、グループ学習スペースとして、Wi-Fi を利用した故郷の家族や恋人との大切なコミュニケーションタイム時に活用する等、実習生の憩いの場として、大いに活用されています。



クラスメイトとおしゃべりを楽しむ実習生



手作り弁当のランチタイム



放課後のグループ学習

## 今月の実習生



今月は来日準備として、独学で!約1年間日本語の勉強をしたというベトナム人実習生の HA THI TUYEN MAI さん(マイさん)を紹介します。独学で習得したとは思えない日本語力のマイさん。また、日本語力だけでなく、その意思の強さにも頭が下がる思いです。マイさんが、書いてくれた自己紹介文を是非ご一読ください。

みなさん、こんにちは。私はマイと申します。ベトナムのハイフォンから来ました。日本のお国が大好きです。日本人は頭がいいだし、親切だし、それにお仕事も明確です。だから、実習生になって、日本へ来ました。日本に来る前に1年間くらい自分で日本語を勉強しました。時には、日本語を勉強しながら、会社の仕事をしました。その時、長女は5歳です。2番目は2歳です。日本語を勉強しながら娘の世話をしなければなりません。その時は忙しいですが、とても面白いです。日本に行く目的は、お金をかせぐことと、日本を経験することです。

将来の夢は、いつか日本語の先生になります。ぜひ頑張ります。 ※漢字表記も含めてほぼ原文通り記載

# あじけん流日本語授業

## ～スイカ割りに挑戦！！～



今回は、日本の夏の風物詩「スイカ割り」を取り入れた位置詞（まえ・うしろ、みぎ・ひだり等の位置を表す言葉）の授業をご紹介します。

まず、教室で実習生には馴染みのない「スイカ割り」のルールについて説明しました。次に、スイカの割り手を誘導するための指示の表現「すすんで！とまって！しゃがんで！たたいて！」などの言葉を導入しました。また、割り手をより正確に誘導するための位置詞「みぎ・ひだり・ななめ」等の言葉も学習しました。そして、実際にスイカ割りの動作も練習しました。次に中庭に出て、実際にスイカ割りに挑戦。今回はクラスを2チームに分けてのリレー形式。早くスイカを割ったチームが勝ちというスタイルで行ないました。防護具として、作業時には欠かせないヘルメットと軍手をバトン代わりに、ルールは母語禁止！日本語の指示のみで、割り手を誘導することとしました。どの国の実習生の皆さんも、スイカ割りは初めての体験だったようですが、「まえ、まえ！みぎ、みぎ！」と大声で指示を出し合い、楽しみながら会話が練習できたと、実習生の皆さんにも大好評でした。



教室にてルールの説明



スイカ割り開始！



あ一つ、ざんねんー。



やったー！われたー！

※ 当校ホームページ <http://www.aiiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます